

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスセンター花りんご(重心)		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 22日		～ 令和 8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 13日		～ 令和 8年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・医療的ケア児を受け入れる体制がとれている。	一人ひとりに合わせた医療的ケアの実施と、ご家族・主治医・学校などの関係機関との連携をとりながら受け入れています。	各関係機関と細やかな連携をとりながら支援してまいります。
2	・医療的ケア児や肢体不自由児を対象とした入浴サービスを実施している。	人工呼吸器を装着した児童や気管切開している児童へ対応できる体制を整えています。	今後も継続して、医療的ケアについての知識を支援技術を学ぶ機会を増やし、ご家族が安心して利用できるよう努めてまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童クラブや地域の他の子供たちと交流する機会が少ない。	重症心身障がい児や医療的ケアを必要とする児童を対象としていることから、感染症のリスクを考慮しているため。	お子様の体調を考慮すると共に感染症対策などを整え、今後交流できるよう努めてまいります。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスセンター花りんご(重心)

公表日 令和8年3月2日

利用児童数 令和8年2月17日時点

10名

回収数

9名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9				浴室が広い。機械浴なので安心感がある。体を動かせる遊戯室があるところが良い。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				さまざまな医療的ケアに対応して頂き助かっている。	医療的ケアや専門性を高めるための研修など継続してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1		1		今後も支援プログラムの周知して頂けるよう説明を継続して参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					お子さんの成長段階で出てくる課題や保護者のご意向に向き合いながら作成して参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					具体的な支援内容を設定することに努めて参ります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					わかりやすく支援計画を説明できるよう継続して参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				家庭では体験できない温泉外出などあり親として助かっています。	今後もお子さんの成長と障がい特性や医療的ケアに配慮しながら、様々な体験が出来るよう工夫して参ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		7		2	たくさんの子供たちと交流させたいと思うが、感染症を引き起こすリスクも高いため親としては悩むところです。	医療的ケア児や肢体不自由児を対象としているため、お子様の体調を考慮し、感染症対策をしながら検討致します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					契約時や更新時期に、わかりやすく説明するよう今後も努めて参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		6		3		ご家族が必要とする研修などの情報を集め、情報提供できる機会を増やして参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9				毎回、担当職員が自宅まで送ってくれ、その日の体調や状況など詳しく話してくれるので助かっている。	今後も引き続き、ご家族との情報交換を密にして参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1			思春期の気持ちの揺らぎなど親として、どのように接したらよいか困った時に声のかけ方などアドバイスをいただき助かっています。	今後もご家族の困りごとなどに助言できるよう努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9				母親として子供に対する気持ちや、女性の細やかな気持など共感してもらえるところが助かっています。	今後もご家族の気持ちに寄り添った支援ができるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9				保護者交流会では、学校以外の保護者の方とお話でき、使用している物品や購入先などの情報を知ることができたのでよかったです。	ご家族の予定やご意見を取り入れながら、今後も定期的に保護者会を開催してまいります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					今後も、ご相談などあった際には迅速に対応してまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1			自宅へ送った際など、直接お会いして情報伝達するようにしていますが、お会いできない時は連絡帳などを活用しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			ホームページやりんご通信など、自分の子供が活動に参加している様子を知ることができ、楽しみにしています。	今後も定期的に広報誌やホームページで情報を発信してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				法人規定に基づき対応しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			子供から訓練に参加した話をよく聞いています。	契約時に、わかりやすく説明するよう心がけております。また、各対策マニュアルについては更新し場合には随時周知するように努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9				毎月1回、非常災害や不審者対策を想定した訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9				今後も引き続き安全計画を周知する共に、安心して支援を受けていただけるよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			今まで大きな事故やケガなどはありませんが、子供の体調や様子がいつもと違う時は、すぐに連絡いただいているので助かっています。	お子さんがいつもと違う様子が見られたり、発熱した場合には迅速に連絡し対応してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				今後も安心して通所して頂けるよう努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9			花りんごでしか会えないお友達とお話することを楽しみにしているようです。	お子さんが楽しんで利用できるよう活動など工夫して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9			子供が成長し自宅での入浴が難しいので、放課後等デイサービスで入浴サービスがあることは親として、とても助かっています。	今後もお子さんやご家族が安心して利用できるよう支援や業務改善に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスセンター花りんご（重心）				公表日	令和 8年 3月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		定員に対して基準を満たしております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	医療的ケア児や重症心身障害児を対象としているため、看護職員を常に配置している他、喀痰吸引1・2号研修を受けた職員も配置しております。	医療的ケアに対応できる看護職員や支援スタッフの知識と技術の向上に努めて参ります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	障害特性や医療的ケアに考慮し、ベットやリハビリマットなど準備しております。	安全に考慮した支援室になるよう環境を整えて参ります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	毎日感染症対策を行い、静養できるスペースを確保しております。	今後も引き続き感染症対策を徹底して参ります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	ベットや静養スペースにはカーテンやパーテーションなどを活用しプライベートに配慮した支援を行っております。	今後も必要に応じて環境整備に努めて参ります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	毎月1回事業所会議を実施し、各委員会にて検討・報告しております。	業務改善について提案しやすいよう、普段より職員同士の細かな声掛けやコミュニケーションを図るよう努めます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	毎年、保護者による評価・アンケートを実施しております。	保護者からのご意見を尊重して業務改善に繋げます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	毎日朝・夕職員間でミーティングを実施している他、毎月の事業所会議や年2回面談を実施しております。	職員の意見などを把握したうえで、委員間などで検討しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		青森県による書面指導などを受けています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	青森県や青森県小児在宅支援センター主催の研修や法人研修会に参加しております。	医療的ケアや重症心身障害児に必要な外部研修に参加する機会を増やし、職員の知識と技術の向上に努めます。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	職員の意見を反映させた支援プログラムを作成しました。	令和8年3月にホームページにて公表します。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	一人ひとりの障害特性や医療的ケアや成長期課題を客観的に分析し作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	支援職員全員で検討会議を通し、お子さん一人ひとりに考慮した支援を検討しております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	職員全員でサービス計画に添った支援をしております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	基本的なアセスメントツールを活用すると共に、ご家庭での様子や学校での様子を伺いながら確認しております。	アセスメントツールを活用すると共に、お子さんひとり一人に合わせた支援方法を見立てよう努めます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	放課後等デイサービスガイドラインを基にしております。	具体的な支援内容な設定できるようアセスメントに力をいれるよう努めます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	お子さんの成長や意見を取り入れながら、職員全員で活動内容を立案しております。	多職種からの観点から意見を出し合い、立案する機会を増やして参ります。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	お子さんの障害特性や医療的ケアに考慮すると共に、成長過程に合わせた活動できるよう工夫しております。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		お子さんの状況に合わせて、機能訓練や集団活動できるよう計画しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝ミーティング時に支援内容や役割分担を確認し合っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日支援終了後には振り返りや気づいた点を共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の記録を徹底し、モニタリングや担当者会議につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		年2回以上、定期的にモニタリングを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動を常に意識しながら支援できるよう工夫しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		一人ひとりの障害特性や成長期に合わせ、お子さんが自己選択・自己決定できる力が育つよう工夫しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		直接支援に関わる職員や児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		主治医や学校・青森県小児在宅支援センターなどの協力機関と連携しながら体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		直接支援に関わる職員が学校送迎へ同行し、情報共有を図っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		必要に応じて、児童発達支援センターや保育園などの事業所と情報共有を図っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		ご家族の同意を得て、支援内容など情報提供を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		必要に応じて児童発達支援センターと連携を図っております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4			医療的ケア児や肢体不自由児を対象としているため、体調などに考慮しながら今後計画していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		黒石市の自立支援協議会に参加しております。	必要に応じて、黒石市だけでなく津軽地域の自立支援協議会へ参加して参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳を活用したり、ご自宅へ送迎時に直接保護者と話す機会を設けております。	必要に応じて、直接お会いできない場合には、電話連絡などの対応も今後検討します。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			今後、家族支援を強化するにあたり研修の機会を作れるよう努めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時及び更新時に丁寧に説明するよう努めております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		ご家族の意向やお子さんの成長段階に合わせて意思の尊重できるよう機会を設け大切に取り組んでおります。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		解りやすく、丁寧に説明し同意を得られるよう努めております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		ご家族からご相談があった場合には随時対応するよう心掛けております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		年1回の保護者会を開催する場を設けております。	現在きょうだい同士で交流できる機会を実施しておりませんが、今後交流できる企画を作りたいと考えております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情相談窓口を設けて、迅速に対応できるようにしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		定期的に広報誌を発行すると共に、ホームページにて情報を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		法人規定に基づき対応しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		一人ひとりの障害特性に応じて、手話や絵カード、音声付あいうえおボード等活用して支援しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		医療的ケア児及び肢体不自由児を対象としているため、体調を考慮したり、感染症予防を徹底しながら今後企画できるような努めて参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		契約時及び更新時に丁寧に説明するよう努めております。また、発生を想定した訓練を実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		毎月1回避難訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時や更新時、また成長期や必要に応じて随時確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			現在食物アレルギーで医師の指示書を必要とするお子さんはいませんが、必要に応じて指示書を求めて参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、安心して支援を受けることができるよう研修や訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			今後も安全計画に基づく取り組みの内容を周知して参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットの事案を都度で共有し、再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		外部研修や内部研修を実施すると共に、毎月セルフチェックを実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在やむを得ず身体拘束を行うお子さんはありませんが、今後強度行動障害などの特性をもつお子さんについては、保護者へ丁寧に説明し同意を得て計画書に計画するように努めております。		